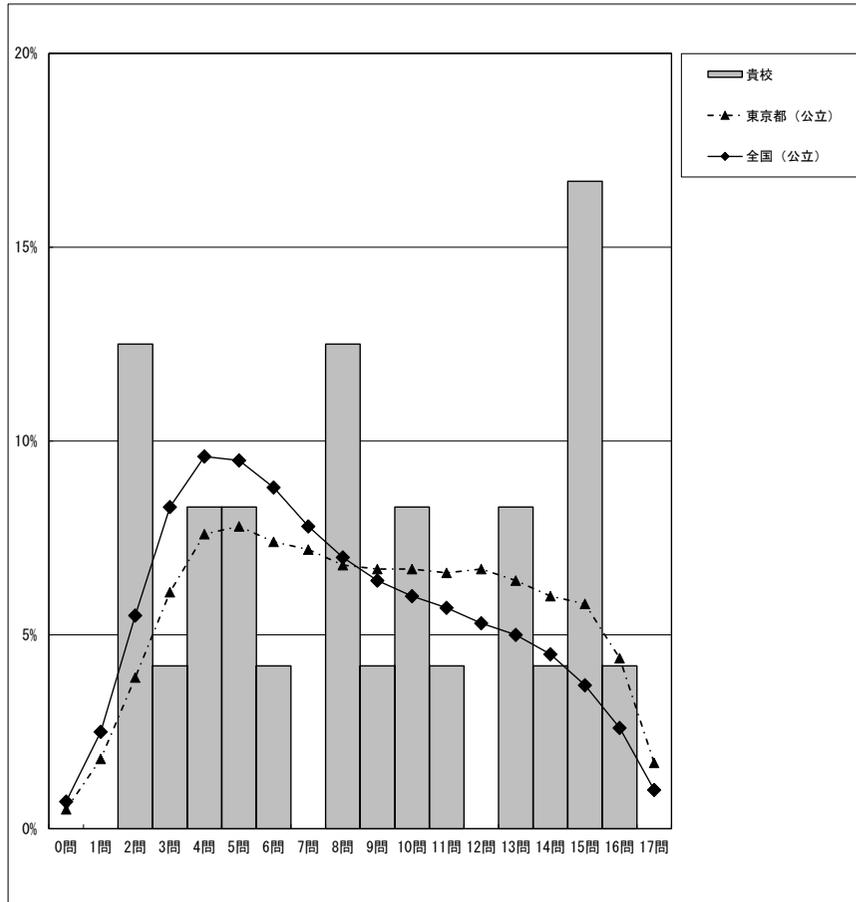


・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。
※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
八丈町立富士中学校	24	8.9 / 17	52	9.0	4.7
東京都(公立)	71,486	8.8 / 17	52	9.0	4.3
全国(公立)	893,528	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数集計値				
正答数	生徒数	割合(%)		
	貴校	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
17問	0	0.0	1.7	1.0
16問	1	4.2	4.4	2.6
15問	4	16.7	5.8	3.7
△ 14問	1	4.2	6.0	4.5
13問	2	8.3	6.4	5.0
12問	0	0.0	6.7	5.3
11問	1	4.2	6.6	5.7
10問	2	8.3	6.7	6.0
◇ 9問	1	4.2	6.7	6.4
8問	3	12.5	6.8	7.0
7問	0	0.0	7.2	7.8
6問	1	4.2	7.4	8.8
▽ 5問	2	8.3	7.8	9.5
4問	2	8.3	7.6	9.6
3問	1	4.2	6.1	8.3
2問	3	12.5	3.9	5.5
1問	0	0.0	1.8	2.5
0問	0	0.0	0.5	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	14.0問	12.0問	11.0問
◇ 第2四分位	9.0問	9.0問	7.0問
▽ 第1四分位	5.0問	5.0問	4.0問

結果に対する分析

本校の平均正答数は、東京都や全国の平均正答数よりも高い。一方で、上位層と下位層にそれぞれ山があり、成績の二極化が見られる。引き続き、上位層や中間層の力を伸ばしつつ、下位層の基礎・基本の定着のためにきめ細かい指導を行っていく必要がある。

「話すこと」を除く言語領域の中で、「読むこと」と「聞くこと」に関する問題で、重点的に指導すべきと考えられる問題として挙げられた数は少なかった。しかし、「書くこと」に関する問題で重点的に指導すべきと考えられる問題として挙げられた数が複数あった。自分の考えや身近なことの説明をまとまりのある文章で書くことについて、スモールステップを積み重ねて力を身に付けていく。